

昨年度の「指導改善プラン」の検証 (成果と課題)

○意欲的に学習に取り組み、基礎的基本的な内容は概ね定着が見られた。調べ学習や友達との意見の交流などを積極的に行い学びを深めていこうとする姿があった。また、体験を通した学びに関心が高く、学習の定着にもつながった。
 ▲書くことや思考したことを表現することには苦手意識が残り、課題となっている。

全国学力・学習状況調査、達成度調査等及び児童の学習状況から見た成果と課題 ○成果 ▲課題

	第4学年	第5学年	第6学年
国語	○「話すこと・聞くこと」は千代田区の達成率より5.9ポイント高い。 ▲「読むこと」は千代田区の達成率より2.8ポイント低い。また、「思考・判断・表現」の観点は千代田区の達成率を6.3ポイント下回っている。	○「言葉・情報・言語文化」は千代田区に達成率を下回るものの全国と比較すると18.8ポイント高い。 ▲「書くこと」「読むこと」は7.2ポイント下回る。また、「思考・判断・表現」の観点は千代田区の達成率を5.2ポイント下回っている。	○「読むこと」は千代田区の達成度より4.6ポイント高い。 ▲「話すこと・聞くこと」は千代田区の達成度より3.5ポイント低い。また、「思考・判断・表現」の観点は1ポイント、知識・技能は0.7ポイント千代田区の達成率を下回っている。
社会	○「歴史と人々の生活」は千代田区の達成度を下回るもののほぼ同程度である。 ▲「地理的環境と人々の生活」及び「現代社会の仕組みや働きと生活」は千代田区の達成率より3.5ポイント低い。また、「知識・技能」の観点は千代田区の達成率を2ポイント下回っている。	○「地理的環境と人々の生活」は千代田区の達成度より4.6ポイント高い。 ▲「現代社会の仕組みや働きと生活」及び「歴史と人々の生活」は千代田区の達成度を5.7ポイント下回っている。また、「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点ともに3ポイント程度千代田区の達成率を下回っている。	○「地理的環境と人々の生活」及び現代社会の仕組みや働きと生活」はどちらも千代田区の達成率を上回っている。 ○「知識・理解」の観点は千代田区の達成率を7.9ポイント上回っている。 ▲「思考・判断・表現」の観点は千代田区の達成度より2.1ポイント低い。
算数	○「データの活用」は千代田区の達成率より1ポイント高い。 ▲「数と計算」「測定」は千代田区の達成率より5.8ポイント低い。また、「思考・判断・表現」の観点は千代田区の達成率を6.8ポイント下回っている。	○「データの活用」は千代田区の達成度より3.2ポイント高い。 ○「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点ともに千代田区の達成率と同程度である。 ▲「数と計算」は千代田区の達成率より3.2ポイント低い。	○「データの活用」は千代田区の達成度より3.3ポイント高い。 ○「思考・判断・表現」の観点は千代田区の達成率2.9ポイント上回っている。 ▲「数と計算」は千代田区の達成率より6.5ポイント低い。
理科	○「生命・地球」は千代田区の達成率と同程度である。 ▲「物質・エネルギー」は千代田区の達成率より1.4ポイント低い。また、「知識・技能」の観点は千代田区の達成率を4.3ポイント下回っている。	○「物質・エネルギー」は千代田区の達成度を下回るものの全国と比較すると8.8ポイント高い。 ▲「生命・地球」は千代田区の達成度より7.7ポイント低い。また、「思考・判断・表現」の観点は千代田区の達成率を13.5ポイント下回っている。	○「生命・地球」は千代田区の達成率より2.2ポイント高い。 ○「思考・判断・表現」の観点は千代田区の達成率を8.6ポイント上回っている。 ▲「物質・エネルギー」は千代田区の達成度より0.5ポイント低い。

授業改善の方針

国語	・読書に親しみ、様々な文章に触れ語彙を増やす。また、国語辞典の活用を増やし言語理解を深める。 ・文章から読み取ったことを基に考えをもち、交流を繰り返し行う。また、大切なことを落とさずに聞き、自分の考えに取り入れて再考する活動を取り入れる。 ・新出漢字の小テストを繰り返し行い、定着を図る。
社会	・資料の読み取りを繰り返し行い、データなどを正しく読む力の習熟を図る。さらに、読み取ったことを基に交流するなどして社会的事象についての理解を深め、自分の生活につなげて考えられるようにする。 ・複数の資料を正しく読み取り、資料を比較したり関連付たりしながら総合的に社会的事象を捉えられるようにする。
算数	・授業の始まりなど短時間で計算を繰り返し行う時間を設定し、スモールステップの課題を出すなどして定着を図る。 ・授業内で数学的な活動を多く取り入れ、作図や測定、数と計算など体験的に学びを深められるようにする。 ・考えたことを表現し交流する場を設定し、協働的に学ぶことを通して深い学びとなるよう授業の工夫をする。
理科	・既習事項と生活経験を関連付けて予想し、実験の結果と比較して考察する場面を意図的に設定し、科学的な思考力を育成する。 ・実物を見たり触れたりする機会や映像で繰り返し確認する場を設ける等、事象の変化や様子を捉える体験を重視する。また、観察や実験等の様子を記録する指導を充実させ、考えたことを書くなどして思考を深める工夫をする。
音楽	・楽器の指使いやタンギングの要点について、デジタル教科書や映像資料を活用し視覚的に理解できるようにするとともに、練習用動画を作成しTeamsで配信するなど児童が学び方を自己調整しながら取り組む環境を整える。 ・講師や支援員と連携して一人一人の意欲を高める声掛けを重視するとともに実態に応じた教材選択や編曲を工夫し、スモールステップを意識した個別指導を一層充実させ表現する意欲を高める。
図工	・材料を豊富に準備し、自分で選べる選択肢を増やす。既習の道具を繰り返し使い、技能の定着を図る。 ・低学年だけではなく、中学年や高学年でも造形遊びの時間を増やし、多様な表現を引き出す。
家庭	・映像資料の活用や学習内容を基に生活の振り返りをさせるなどして学習を深め、既習内容を生活に生かせるようにする。 ・調理実習や裁縫など実践を伴う学習では、道具の扱い方を丁寧に指導し、繰り返し体験できる学習の工夫をする。
体育	・安全に気を付け、楽しく準備できるようルールや約束を全体で共通理解をする。 ・コーディネーショントレーニングを継続的に取り入れ運動能力の向上を図る。 ・自分の課題に向かって活動できるようICTを活用したグループでの教え合いや映像で動きをイメージする時間を設定し、よりよい活動につながる学習計画を立てる。また、活動の振り返りを行い次時の見通しをもたせ、主体的に学習に取り組めるようにする。
外国語	・ALTとの連携を図り、学習活動の内容を工夫し主体的に学ぼうとする意欲を高める。 ・ICTを活用やALTとの関わりを多くもつことで、すずんでコミュニケーションを取ろうとする態度を育てる。 ・全体の場での発語やALTや友達とのやりとりを多く行えるような授業の計画をたて推進する。

